

頑張る企業を応援します！

中小企業応援団

愛知県信用保証協会 × 中部経済新聞



掲載日 2022年9月20日

## 瀬戸珈琲合同会社

瀬戸珈琲は、せと末広町商店街でカフェ「Seto Coffee」を運営している。

代表の大澤徳和氏は、二つの珈琲店との出会いをきっかけに自分の店を持つことを決心した。珈琲への想いを店という形にした大澤氏に話を聞いた。

### Company Data

社名：瀬戸珈琲合同会社

代表者：大澤 徳和

住所：瀬戸市末広町2の17

URL：<https://setocoffee.thebase.in>



### 「衝撃のおいしさ」がきっかけ

私が珈琲を好きになったきっかけは、大学卒業後に仙台の児童養護施設で働き始めた際、偶然職場近くで見つけた自家焙煎店が提供していたネルドリップ珈琲と出会ったことです。

私も学生時代には珈琲メーカーで淹れる程度のことはしていましたが、そのお店の珈琲は味も香りもそれまでに飲んでいた珈琲とはまるで違い、衝撃を受けました。それ以来、そのお店で豆の種類や抽出器具、淹れ方を教えてもらい、職場でも同僚に珈琲を振る舞うようになるほどのめり込んでいきました。



その後、児童養護施設を2017年に退職し、生まれ育った瀬戸に戻ってネットビジネスで物販事業を始めました。一時期、東京へネットビジネスのノウハウを学びに出ている頃、東京都港区白金台の珈琲店で飲んだ珈琲に2度目の衝撃を受けました。

そのお店の珈琲はすっきりとしたクリアな味わいで、産地の違いを鮮明に感じることができました。

この2度の衝撃で、私はすっかり珈琲の虜になりました。

## 暗中模索で店づくり

しばらくネットビジネスを続けていましたが、相手の顔が見えないビジネスには向かないと思い始め、段々と熱が冷めていきました。実店舗でお客様の顔を見ながら珈琲を出したいと考えるようになり、「開業するなら地元で」と思い再び瀬戸へ帰ってきました。

その頃に新規開店したカフェで働きながら仕入れや調理、基本的な会計を学び、それと並行して店の物件探しを始めました。

その後、珈琲豆のネット販売や地元のマルシェイベントへの出店なども始めました。また起業に向け、瀬戸市主催の「せと・しごと塾」でも学びました。元々生まれ育った地元でもある「せと末広町商店街」で理想的な物件と出会い、改装工事を経て2022年2月に Seto Coffee を開店しました。

## 厳選重ねた7銘柄

当店の最大の特徴は、スペシャルティ珈琲の生豆を輸入業者から購入し、欠点豆を丁寧に取り除いて自家焙煎していることです。また提供する珈琲豆の銘柄は東京・白金台のお店のマスターに紹介してもらった豆を中心に取り揃えました。

今、取り扱っている豆の産地はエチオピア、ケニア、インドネシア、グアテマラ、イエメン、コスタリカ、パプアニューギニアの7種類。8つ目の銘柄としてウガンダを検討中です。珈琲豆は産地ごとに収穫時期や日本への入港時期が異なります。これからも様々な珈琲豆を取り寄せて試飲し、納得のできる豆を順に提供していく予定です。

当社が提供するのブレンドではなく全て単一の銘柄です。また、最高の状態で味わってもらうため、注文を受けてから一杯ずつ淹れることにもこだわっていきます。

当社に来られるお客さまは、当初40~50代の珈琲好きな方を想定していましたが、実際には60代がボリュームゾーンとなっています。口コミやSNSで知ったという方もいらっしゃいますが、商店街に立地していることから通りがかりの方や近所にお住まいの方などに憩いの場として立ち寄っていただいております、リピーターも付き始めました。

## 瀬戸を「珈琲の街」に

現在、コロナ禍という厳しい環境ですが、おかげさまで業績は順調に推移しています。今後は瀬戸市外、特に長久手や日進、名古屋などからお客さんを呼べる工夫も必要と考えています。

また当店の近くにある「銀座通り商店街」に 2022 年 4 月、スペシャルティ珈琲のブレンド専門店が誕生しました。当店とは方向性が違いますので、互いにぶつかることなく共存しています。また、市内には複数の珈琲専門店があることから、互いに連携して瀬戸全体が「珈琲の美味しい街」として盛り上がると良いと考えています。

私は何かを始めようとする時、深く悩まないようにしています。感覚的に楽しそうだな、と思えばすぐに取り掛かります。そして、どのような結果になってもその責任は自分が引き受ける覚悟を持つことを心掛けています。



それを一言にまとめると「人生行き当たりばったり、結果オーライ」です。この起業も 1 年後、2 年後に「結果オーライ！」と言えるよう頑張っていきます。